

運営委員会 運営委員長: 上羽 貞行(東工大)

実行委員会 実行委員長: 黒澤 実(東工大)

伊藤洋一(日大), 金井浩(東北大), 小池義和(芝浦工大), 小柴正則(北大), 齊藤晋聖(北大), 中村健太郎(東工大), 蜂屋弘之(千葉大), 三原毅(東北大), 山中一司(東北大)

論文委員会 論文委員長: 蜂屋 弘之(千葉大) 論文副委員長: 斎藤 繁実(東海大)

遠藤信行(神奈川大), 梅村晋一郎(日立), 大野正弘(千葉工大), 鎌田弘志(沖電気), 川島捷宏(東京工大), 櫛引淳一(東北大), 工藤すばる(石巻専修大), 黒澤実(東工大), 香田忍(名古屋大), 小島誠治(筑波大), 崔博坤(明治大), 酒井啓司(東大), 杉本信正(阪大), 中村健太郎(東工大) 橋本研也(千葉大), 広瀬精二(山形大), 松川真美(同志社大), 水谷孝一(筑波大), 守本純(防衛大), 山田晃(農工大), 山田顕(東北大), 山田純(日立), 山中一司(東北大)

運営委員

秋山いわき(湘南工大), 阿部洋(トーン), 飯野博司(古野電気), 井上直樹(愛媛大), 井上浩(秋田大), 井上武志(日本電気), 宇野武彦(神奈川工大), 小澤あつみ(日女大), 大平悦三(武蔵工大), 岡崎正喜(日本電波工業), 片倉景義(日立), 門田道雄(村田製作所), 鎌倉友男(電通大), 菊池恒男(産総研), 菊池年晃(海洋研究開発機構), 小山清人(山形大), 齊藤史郎(東芝), 佐々木博(東芝), 澤田嗣郎(農工大), 椎名毅(筑波大), 塩川祥子(静大インキュベーション), 塩寄忠(奈良先端大), 実森彰郎(鳥取環境大), 菅原澄夫(石巻専修大), 須崎琢而(堀場製作所), 竹中正(理科大), 高木聖志郎(東大), 高野剛浩(東北工大), 高田啓二(日立), 高橋貞行(NEC), 竹内正男(玉川大), 田中肇(東大), 田中元直(結核予防会), 田村安孝(山形大), 千原國宏(奈良先端大), 長康雄(東北大), 辻野次郎丸(神奈川大), 土屋利雄(海洋研究開発機構), 土井新(京セラ・キンセキ), 得永嘉昭(金工大), 戸田耕司(防衛大), 富川義朗(山形大), 豊田太郎(電通大), 中川恭彦(山梨大), 中村信良(東北大), 中村敏明(防衛大), 永井啓之亮(筑波大), 中島春彦(農工大), 中田穂積(大真空), 野村徹(芝浦工大), 野村浩康(東京電機大), 橋本雅彦(松下電器), 橋本芳樹(カイジヨー), 畑朋延(日本ナノ膜株式会社), 原田明(九大), 平尾雅彦(阪大), 平林誠(国際医療大), 藤原嘉朗(富士通メディアデバイス), 古川猛夫(東理大), 寶川幸司(神奈川工大), 星宮務(東北学院大), 前田泰昭(大阪府大), 松岡辰郎(名大), 松中敏行(アロカ), 美宅成樹(名大), 美谷周二郎(東大), 三留秀人(産総研), 南出章幸(金沢工専), 南川俊治(石川県工試), 宮崎保光(愛工科大), 宮下富勝(龍谷大), 三好正人(NTT), 茂木良平(秋田高専), 森泉豊栄(東工大), 山口正恒(千葉大), 山越芳樹(群馬大), 山下喜就(TDK), 山之内和彦(東北工大), 山本弘(日立建機), 山本泰司(NRS), 山森春男(本多電子), 吉田哲男(アクシム), 若月昇(石巻専修大), 渡辺好章(同志社大)

顧問 卜部泰正, 大谷隆彦, 尾上守夫, 岡野光治, 川端昭, 柴山乾夫, 清水康敬, 中鉢憲賢, 中村昭, 根岸勝雄, 能本乙彦, 森榮司



東急田園都市線「すずかけ台」下車徒歩 5 分  
(「渋谷」から約 35 分、東海道新幹線「新横浜」から約 20 分)

シンポジウム開催期間 11月16日(水)~18日(金)

講演申し込み締切	8月5日(金)
論文集原稿(A4×2頁)締切	8月26日(金)
参加費割引申し込み締切	11月4日(金)
JJAP 論文原稿締切	11月25日(金)

シンポジウム会場

東京工業大学すずかけ台キャンパス 「すずかけホール」  
(神奈川県横浜市緑区長津田町 4259)



The 26<sup>th</sup>  
Symposium  
on  
Ultrasonic  
Electronics

期間:平成17年11月16日(水)~18日(金)

会場:東京工業大学すずかけ台キャンパス  
「すずかけホール」/ 横浜

<http://www.use-jp.org/index-j.html>

# USE2005

## 第26回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

主催: 超音波シンポジウム運営委員会  
共催: 応用物理学会

November  
16-18, 2005  
Yokohama  
Tokyo Institute of Technology

協賛: 映像情報メディア学会/海洋音響学会/超音波工業会/電気学会/電子情報通信学会/  
日本工機・イー学会/日本音響学会/日本化学会/日本学術振興会弾性波素子技術第150委員会/  
日本機械学会/日本金属学会/日本超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/  
日本分光学会/日本分析化学会/日本分析機械工業会/IEEE UFFC Society Japan Chapter



ごあいさつ

本シンポジウムは、超音波に関する各分野の基礎から応用に携わる研究者の学術交流の場を提供することを目的に、1980年12月に第1回が開催されました。以来四半世紀にわたり毎年超音波に関する最新の研究発表と討論が行われてまいりました。その間、応用物理学会英文誌 JJAP の特集号としても巻を重ねました。昨年第25回を迎えたのを機に、英語セッションを設けて国際化を進めるとともに、論文賞の創設や既発行講演論文集の Online 化を図っております。今年、緑豊かな東工大すずかけ台キャンパスを会場に選び、新たな四半世紀の幕開けとなるシンポジウムを開催します。多数の皆様のご参加を心からお待ちしております。

第26回超音波シンポジウム運営委員長 上羽貞行

### 超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、*Japanese Journal of Applied Physics* に論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award)を贈呈します。

### 超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者(ポスターの場合は概要講演登壇者)で、シンポジウム開催翌年の3月31日で満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞(Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award)を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申し込み時に申請してください。

両賞とも授賞式は次年度のシンポジウム(USE2006)の席上で行います。



### 論文募集分野

1. 超音波基礎・フォノン物理
2. 超音波物性・超音波材料
3. 測定技術・映像法・非破壊検査
4. 光-超音波エレクトロニクス
5. バルク波デバイス
6. 弾性表面波デバイス
7. ソノケミストリー
8. 医用超音波
9. 強力超音波
10. 水中音響
11. その他

講演申込み(8月5日(金)まで) 原則として USE ホームページから申し込んで下さい。この申し込みデータを用いて論文委員会において採否決定を行います。「英語セッション」は英語で発表、討論を行うセッションです(講演論文原稿も英語)。海外から参加する外国人だけではなく、日本人や日本の大学に在学する留学生の積極的な参加をお待ちしています。また、超音波シンポジウム奨励賞の有資格者は登録を忘れずに行って下さい。

講演論文集の原稿(8月26日(金)まで) 原則として pdf 形式のものをホームページからご提出下さい。執筆要綱、テンプレートもホームページをご参照下さい。過去の講演論文集は USE ホームページから閲覧することが出来ます。採録原稿は、シンポジウム終了後おおむね半年を経過した後に同様にホームページに公開します。このことに支障のある方は、原稿提出時にお申し出下さい。インターネットを利用できない方など不明点はお尋ね下さい。

講演採択の決定 論文委員会で審査を行い、採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月下旬ころの予定です。

講演論文集別刷り 講演原稿を提出された方は必ず別刷り(1件 5,000 円)をお申し込み下さい。申し込みおよび支払いは参加申し込み時にお願ひ致します。

JJAP 論文の原稿(11月25日(金)まで) 講演採択者は JJAP(*Japanese Journal of Applied Physics*)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿要領はシンポジウム講演の採択通知と一緒にお知らせします。なお、Vol.45, No.5B にて Active-Matrix Liquid-Crystal Display 特集との合併号になる予定です。



### USE ホームページ

<http://www.use-jp.org/index-j.html>



### USE 懇親会

11月17日(木) 夕刻  
東京工業大学すずかけ台キャンパス  
すずかけホール「ラウンジ」  
会費: 一般 6,000 円  
学生 2,000 円



### 問合せ先

実行委員長 黒澤 実  
東京工業大学総合理工学研究科  
物理情報システム専攻  
〒226-8502 神奈川県横浜市  
緑区長津田町 4259-G2-32  
TEL 045-924-5598  
FAX 045-924-5593  
E-mail: secretary@use-jp.org

参加申込み 参加者一人ずつ USE ホームページからお申し込み下さい。今年から参加申し込み時にクレジットカードを利用してホームページから参加費を支払えますので、ご利用下さい。参加費は下記のとおりです。懇親会費、別刷り代金も支払えます。また、従来どおり専用の郵便振替用紙を用いて参加費等を送金することも可能です。ただし、従来と異なり、郵便振替用紙が参加申込みとはなりません。郵便振替の場合も必ずホームページから1名ずつ参加申し込みをして下さい。所属機関から送金される場合は、振替用紙に所属・氏名を明記して下さい。銀行送金を希望される方はお知らせ下さい。

郵便振替口座番号: 00120 - 6 - 260742 口座名義: 超音波シンポジウム  
ホームページからの参加申し込みは会期前日まで可能ですので、できる限り申し込みを済ませてから会場にお越し下さい。また、11月4日(金)までに参加費をカード決済または送金される場合は割引価格が適用されますので、早めの申し込み、お支払いをお勧めします。なお、会期当日の支払いは現金でお願ひ致します。

参加費 11月4日までの割引価格: 15,000 円(一般) 5,000 円(学生)  
それ以降、当日までの価格: 17,000 円(一般) 6,000 円(学生)  
参加費には講演論文集と JJAP 特集号 1 冊(刊行後送付)の代金が含まれます。当日欠席の場合は後日、論文集を郵送します。なお、JJAP を定期購読されている一般の方は、事前申込み 13,000 円、当日申込み 15,000 円となります。今回参加できない方も、参加申し込みをされて講演論文集と JJAP 特集号の継続購読をすることをお勧めします。また、今回参加申込みをされた方には来年のシンポジウム案内を差し上げる予定です。